

野澤友美看護師が第17回茨城放射線腫瘍研究会にて優秀演題賞を受賞

2019年3月9日（土）第17回茨城放射線腫瘍研究会にて、野澤友美看護師が発表を行った「食道癌患者の放射線治療における嚥下時痛と栄養管理について」が優秀演題賞を受賞しました。

茨城放射線腫瘍研究会は茨城県内の放射線治療の発展を目的に、放射線治療に従事する医師や看護師、放射線診療技師等で組織されるものです。第17回大会は「備えよつねに-日常に潜むトラブルへの対応-」をテーマに、ホテルグランド東雲にて開催されました。

今後も県内の放射線治療の発展に向け、大学附属病院ならではの高度な医療の提供とともに、県内の放射線腫瘍医、医療従事者との連携を行ってまいります。



上段右から、田上千春看護師、櫻井英幸教授、宮内大悟医師
下段右から、名取利恵看護師長、野澤友美看護師、秋田若奈看護師